

令和7年度 つまこども園経営方針

「卒園までに 基礎が身につく こども園」

基本理念：『明るい声が響き 笑顔あふれる楽しいこども園』

1 こども園経営目標

- (1) 社会の変化や保護者の要望に柔軟に対応できるようにすると共に、児童の心身における調和の取れた発達を支援する。あわせて認定こども園（幼保連携型）への移行を完了したことで「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」にもとづく教育・保育への円滑な移行を目指す。
また保育教諭たる職員には、教育ならびに保育の専門家としての能力や資質の向上を目指して研修の充実を図る。
- (2) 園児理解に努め、園児の個性や表現力や可能性を伸ばし、こころ豊かな園児を育成する。
- (3) 家庭や地域と深く連携し、開かれた魅力ある園づくりを進める。

2 教育・保育の目標

限りない可能性を秘めた子どもたちが持つ、本来の活力や個性を生かして、自己活動や自己表現ができるように援助し、心身ともに健全な児童の育成をめざす。

- (1) こども園像 「明るい声が響き 笑顔あふれる楽しいこども園」
- (2) 園児像
 - ① たくましい明るい子
 - ② 笑顔あふれるやさしい子
 - ③ 考えやりぬこうとする子
- (3) 職員像
 - ① 仕事に対して責任を持ち、信頼される職員
 - ② 力量の向上をめざす職員
 - ③ 子どもの良さを発見し伸ばす職員
 - ④ さわやかな声と笑顔で対応できる保育教諭

3 教育・保育方針

- (1) 十分に養護の行き届いた環境のもとで、健康・安全等の生活に必要な基本的習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を養う。
- (2) 子どもをとりまく温かい人間関係と信頼関係の中で、情緒の安定を図り、自発的な子どもの行動を大切にしながら、一人一人の豊かな個性の発達とともに、正しい仲間関係の基礎を育てる。
- (3) 豊かな自然や地域社会に触れ、いろいろな事象についての興味や関心を育てるとともに、様々な体験を通して感性を育て、思いやり、命を大切にする心の芽生えを培う。
- (4) 進んで新しい体験に挑ませ、やり遂げた喜びと満足感を味わわせ、自信を持たせ意欲を育てる。